

# 平成23年度 財政状況資料集

## 総括表 (市町村)

都道府県名	三重県		市町村類型	Ⅲ-2			指定団体等の指定状況		区分		平成23年度(千円)		平成22年度(千円)		区分		平成23年度(千円・%)		平成22年度(千円・%)																																																																																																																																																			
									歳入総額	平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	実質収支比率	平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)																																																																																																																																																								
市町村名	紀宝町		地方交付税種地	2-2			財政健全化等	×	歳出総額	7,383,323	5,820,537	経常収支比率	93.6	84.3																																																																																																																																																								
							財源超過	×	歳入歳出差引	697,303	686,993	(※1)	(100.7)	(93.6)																																																																																																																																																								
							首都	×	翌年度に繰越すべき財源	130,666	97,591	標準財政規模	4,003,845	4,038,279																																																																																																																																																								
							近畿	○	実質収支	566,637	589,402	財政力指数	0.35	0.37																																																																																																																																																								
							中部	×	単年度収支	-22,765	233,065	公債費負担比率	12.0	13.5																																																																																																																																																								
人口	22年国調(人)	11,896	産業構造(※5)			過疎	×	積立金	1,476	2,216	健全化判断比率	-	-																																																																																																																																																									
	17年国調(人)	12,648				山振	○	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																									
	増減率(%)	-5.9				低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																									
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	12,001	第1次	22年国調	381	483	指数表選定	○	実質単年度収支	-21,289	235,281	実質公債費比率	10.2	11.1																																																																																																																																																								
	23.03.31(人)	12,160		17年国調	7.6	8.6	基準財政収入額	1,006,383	934,276	将来負担比率	70.9	83.0																																																																																																																																																										
	増減率(%)	-1.3		第2次	1,364	1,620	基準財政需要額	2,953,464	2,919,022	資金不足比率(※4)	-	-																																																																																																																																																										
面積(km <sup>2</sup> )	79.66		第3次	27.3	29.0	標準税収入額等	1,287,463	1,186,137																																																																																																																																																														
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	149			3,253	3,476	経常経費充当一般財源等	3,836,445	3,561,367																																																																																																																																																														
世帯数(世帯)	5,123			65.1	62.2	歳入一般財源等	5,421,515	4,854,588																																																																																																																																																														
職員の状況																																																																																																																																																																						
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	7,779,225	7,398,201																																																																																																																																																											
	市区町村長	1	6,660		一般職員	110	349,140	3,174	うち公的資金	2,165,149	2,148,273																																																																																																																																																											
	副市区町村長	1	5,355		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	2,219	2,219																																																																																																																																																											
	教育長	1	5,085		うち技能労務職員	9	30,204	3,356	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																											
	議会議長	1	2,550		教育公務員	2	7,858	3,929	土地開発基金現在高	117,317	117,317																																																																																																																																																											
	議会副議長	1	2,050		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	1,352,559	1,051,083																																																																																																																																																											
	議会議員	12	1,950		合計	112	356,998	3,187	減債基金	4,552	4,551																																																																																																																																																											
						ラスパイレズ指数(※6)	106.1	(98.0)		その他特定目的基金	1,215,140	1,257,227																																																																																																																																																										
	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">一般会計等の一覧 項番</td> <td style="width: 15%;">会計名</td> <td style="width: 15%;">事業会計の一覧 項番</td> <td style="width: 15%;">会計名</td> <td style="width: 15%;">公営企業(法適)の一覧 項番</td> <td style="width: 15%;">会計名</td> <td style="width: 15%;">公営企業(法非適)の一覧 項番</td> <td style="width: 15%;">会計名</td> <td style="width: 15%;">関係する一部事務組合等一覧 項番</td> <td style="width: 15%;">組合等名</td> <td style="width: 15%;">地方公社・第三セクター等一覧 項番</td> <td style="width: 15%;">団体名</td> <td style="width: 15%;">(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td></td> <td>(3) 国民健康保険特別会計</td> <td></td> <td>(5) 水道事業特別会計</td> <td></td> <td>(6) 町営浄化槽整備推進事業特別会計</td> <td></td> <td>(8) 三重県市町職員退職手当組合</td> <td>(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 診療所事業特別会計</td> <td></td> <td>(4) 後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(7) 井内地域開発事業特別会計</td> <td></td> <td>(9)</td> <td>(特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>(公平委員会特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>三重県自治会館組合</td> <td>(一般会計)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>(共有デジタル地図特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>(物品特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>(公平委員会会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>三重県地方税管理回収機構</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>三重県後期高齢者医療広域連合</td> <td>(一般会計)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>(後期高齢者医療特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																						一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	(1) 一般会計		(3) 国民健康保険特別会計		(5) 水道事業特別会計		(6) 町営浄化槽整備推進事業特別会計		(8) 三重県市町職員退職手当組合	(一般会計)				(2) 診療所事業特別会計		(4) 後期高齢者医療特別会計				(7) 井内地域開発事業特別会計		(9)	(特別会計)												(10)	(公平委員会特別会計)												(11)	三重県自治会館組合	(一般会計)											(12)	(共有デジタル地図特別会計)												(13)	(物品特別会計)												(14)	(公平委員会会計)												(15)	三重県地方税管理回収機構												(16)	三重県後期高齢者医療広域連合	(一般会計)											(17)	(後期高齢者医療特別会計)				
	一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																								
(1) 一般会計		(3) 国民健康保険特別会計		(5) 水道事業特別会計		(6) 町営浄化槽整備推進事業特別会計		(8) 三重県市町職員退職手当組合	(一般会計)																																																																																																																																																													
(2) 診療所事業特別会計		(4) 後期高齢者医療特別会計				(7) 井内地域開発事業特別会計		(9)	(特別会計)																																																																																																																																																													
								(10)	(公平委員会特別会計)																																																																																																																																																													
								(11)	三重県自治会館組合	(一般会計)																																																																																																																																																												
								(12)	(共有デジタル地図特別会計)																																																																																																																																																													
								(13)	(物品特別会計)																																																																																																																																																													
								(14)	(公平委員会会計)																																																																																																																																																													
								(15)	三重県地方税管理回収機構																																																																																																																																																													
								(16)	三重県後期高齢者医療広域連合	(一般会計)																																																																																																																																																												
								(17)	(後期高齢者医療特別会計)																																																																																																																																																													

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6: ラスパイレズ指数の( )内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				地方税の状況 (単位 千円・%)			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比
地方税	1,082,802	13.4	1,082,802	28.4	普通税	1,082,802	100.0
地方譲与税	55,915	0.7	55,915	1.5	法定普通税	1,082,802	100.0
利子割交付金	3,629	0.0	3,629	0.1	市町村民税	398,542	36.8
配当割交付金	2,022	0.0	2,022	0.1	個人均等割	14,730	1.4
株式等譲渡所得割交付金	496	0.0	496	0.0	所得割	332,952	30.7
地方消費税交付金	96,367	1.2	96,367	2.5	法人均等割	17,578	1.6
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	33,282	3.1
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	602,495	55.6
自動車取得税交付金	15,677	0.2	15,677	0.4	うち純固定資産税	602,420	55.6
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	31,443	2.9
地方特例交付金	26,792	0.3	26,792	0.7	市町村たばこ税	50,322	4.6
児童手当及び子ども手当特例交付金	14,235	0.2	14,235	0.4	鉱産税	-	-
減収補填特例交付金	12,557	0.2	12,557	0.3	特別土地保有税	-	-
地方交付税	3,175,140	39.3	2,428,259	63.7	法定外普通税	-	-
普通交付税	2,428,259	30.1	2,428,259	63.7	目的税	-	-
特別交付税	746,876	9.2	-	-	法定目的税	-	-
震災復興特別交付税	5	0.0	-	-	入湯税	-	-
(一般財源計)	4,458,840	55.2	3,711,959	97.4	事業所税	-	-
交通安全対策特別交付金	1,219	0.0	1,219	0.0	都市計画税	-	-
分担金・負担金	21,973	0.3	-	-	水利地益税等	-	-
使用料	152,159	1.9	90,652	2.4	法定外目的税	-	-
手数料	5,928	0.1	-	-	旧法による税	-	-
国庫支出金	717,188	8.9	-	-	合計	1,082,802	100.0
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-			
都道府県支出金	1,113,184	13.8	-	-			
財産収入	13,347	0.2	3,204	0.1			
寄附金	6,051	0.1	-	-			
繰入金	119,209	1.5	-	-			
繰越金	386,993	4.8	-	-			
諸収入	152,135	1.9	3,199	0.1			
地方債	932,400	11.5	-	-			
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-			
うち臨時財政対策債	288,100	3.6	-	-			
歳入合計	8,080,626	100.0	3,810,233	100.0			

区分		平成23年度		平成22年度	
徴収率	現年計 (%)	97.5	91.2	97.5	91.7
	市町村民税	96.9	89.9	97.1	90.9
	純固定資産税	97.7	91.8	97.7	91.9

区分		国民健康保険事業会計の状況	
合計	817,716	実質収支	132,607
病院	82,327	再差引収支	112,065
上水道	75,041	加入世帯数(世帯)	2,335
宅地造成	60,723	被保険者数(人)	4,034
下水道	23,683	被保険者	71
国民健康保険	215,777	1人当り	116
その他	360,165	保険税(料)収入額	253
		国庫支出金	116
		保険給付費	253

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	94,862	1.3	2,982	94,230	
総務費	734,535	9.9	11,486	656,186	
民生費	2,362,306	32.0	211,139	1,102,958	
衛生費	1,278,095	17.3	14,697	943,019	
労働費	-	-	-	-	
農林水産業費	195,811	2.7	67,832	112,673	
商工費	82,856	1.1	-	70,082	
土木費	381,969	5.2	269,938	136,151	
消防費	386,985	5.2	17,269	355,108	
教育費	673,117	9.1	253,098	436,302	
災害復旧費	540,814	7.3	-	165,530	
公債費	651,973	8.8	-	651,973	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	7,383,323	100.0	848,441	4,724,212	

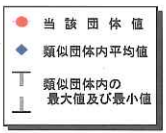
  

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2,595,726	35.2	1,940,686	1,842,335	45.0
人件費	1,151,532	15.6	1,063,808	988,794	24.1
うち職員給	736,893	10.0	653,559	-	-
扶助費	792,221	10.7	224,905	201,568	4.9
公債費	651,973	8.8	651,973	651,973	15.9
元利償還金	651,973	8.8	651,973	651,973	15.9
うち元金	551,376	7.5	551,376	551,376	13.5
うち利子	100,597	1.4	100,597	100,597	2.5
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	3,398,342	46.0	2,490,136	1,994,110	48.7
物件費	1,700,156	23.0	1,030,972	657,999	16.1
維持補修費	46,783	0.6	42,050	38,406	0.9
補助費等	973,653	13.2	837,043	773,407	18.9
うち一部事務組合負担金	340,686	4.6	265,986	265,986	6.5
繰入金	644,052	8.7	580,070	524,298	12.8
積立金	12,298	0.2	1	-	-
投資・出資金・貸付金	21,400	0.3	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,389,255	18.8	293,390	-	-
うち人件費	23,587	0.3	23,587	-	-
普通建設事業費	848,441	11.5	127,860	-	-
うち補助	458,433	6.2	7,972	-	-
うち単独	338,010	4.6	117,490	-	-
災害復旧事業費	540,814	7.3	165,530	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	7,383,323	100.0	4,724,212	-	-



### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

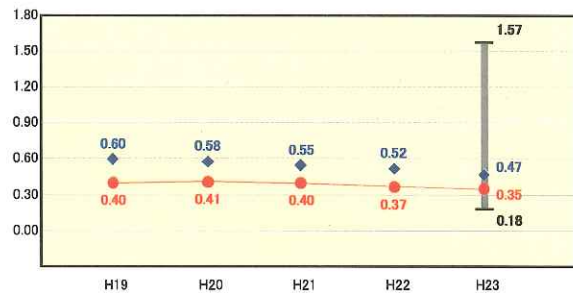
人口	12,001人 (H24.3.31現在)	実質赤字比率	- %
面積	79.66 km <sup>2</sup>	連続実質赤字比率	- %
人口総額	8,080,626千円	実質公債費比率	10.2 %
歳入総額	7,383,323千円	将来負担比率	70.9 %
歳出総額	566,637千円		
標準財政規模	4,003,845千円	市町村類型	H19 III-2 H20 III-2 H21 III-2 H22 III-2 H23 III-2
地方債現在高	7,779,225千円	(年度毎)	



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

#### 財政力 財政力指数 [0.35]

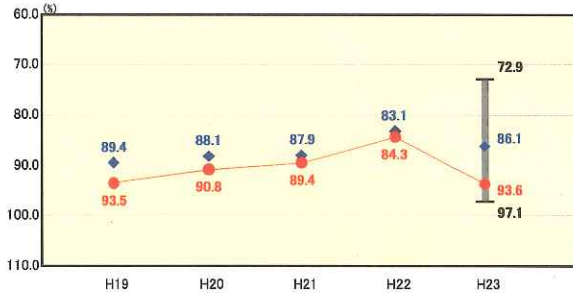
類似団体内順位 46/75 全国平均 0.51 三重県平均 0.62



**財政力指数の分析欄**  
 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(23年度末28.4%)に加え、町内に中心となる産業がないことなどにより、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。退職者不補充等による職員数の削減による人件費の削減(合併後10年間で約3億円の減額)等により、財政の健全化を図る。

#### 財政構造の弾力性 経常収支比率 [93.6%]

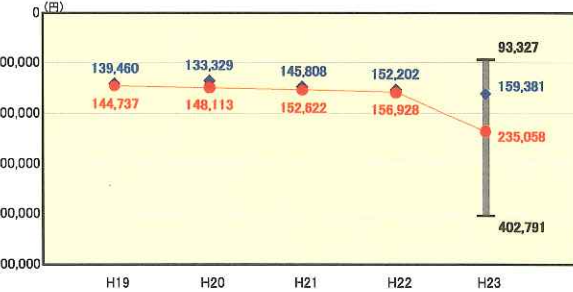
類似団体内順位 72/75 全国平均 90.3 三重県平均 87.9



**経常収支比率の分析欄**  
 集中改革プランを超える職員数の削減による人件費の抑制や指定管理者制度の導入等により、年々改善してきたものの、平成23年度は類似団体平均を大きく上回っている。これは人件費や物件費などで、23年に発生した台風12号大水害の影響も少なからずあると思われる、今後も行財政改革等の取り組みを続けながら、比率に注視していく必要がある。

#### 人件費・物件費等の状況 人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [235,058円]

類似団体内順位 70/75 全国平均 119,477 三重県平均 123,940



**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 平成22年度までは類似団体平均と同水準で移行してきたが、平成23年度では平均を大きく上回っている。これは平成23年に発生した台風12号大水害の影響により、災害廃棄物処理に係る手数料や委託料、借上料や災害対応の人件費などが数億単位で発生したためである。今後は以前から類似平均を若干上回っている物件費の賃金や委託料を抑制しながら、費用額を注視していく必要がある。

#### 将来負担の状況 将来負担比率 [70.9%]

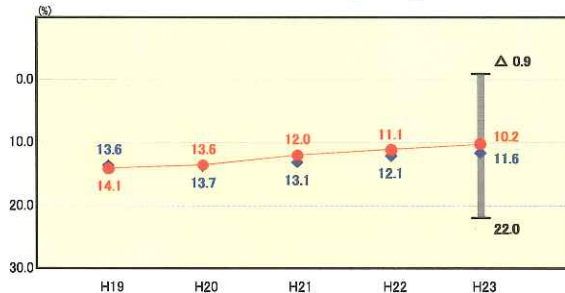
類似団体内順位 48/75 全国平均 69.2 三重県平均 55.1



**将来負担比率の分析欄**  
 合併特例債を利用した基金造成事業や小学校等の老朽化による施設の改修事業などにより、全国平均値とほぼ同程度ではあるものの、類似団体平均を上回っている。平成23年に発生した台風12号大水害により、災害復旧債の借入額により今後の比率が悪化する可能性があるが、財政調整基金及び減債基金の積立による充当可能基金の増額や、その他起債の新規発行を抑制することで数値の改善に努めていく。

#### 公債費負担の状況 実質公債費比率 [10.2%]

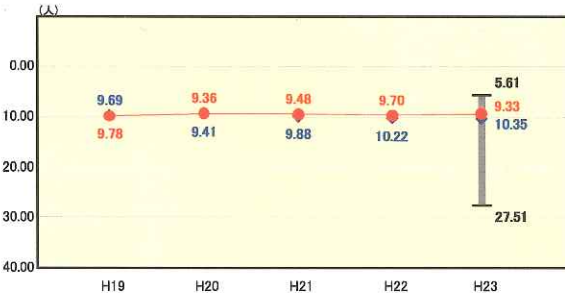
類似団体内順位 32/75 全国平均 9.9 三重県平均 10.6



**実質公債費比率の分析欄**  
 この5年間は改善傾向にあり、平成23年度は10.2と類似団体を下回っている。平成23年に発生した台風12号大水害により、災害復旧債の借入額により今後の比率が悪化する可能性があるが、その他の起債も地震・津波対策など建設等の事業を予定しているため、合併特例債や緊急防災・減災事業債など交付税措置の厚い地方債を有効的に活用することで、数値の維持、改善に努める。

#### 定員管理の状況 人口千人当たり職員数 [9.33人]

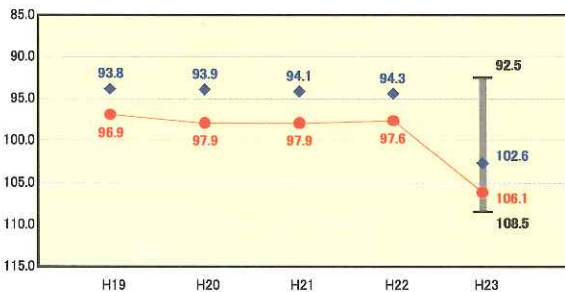
類似団体内順位 33/75 全国平均 7.17 三重県平均 7.87



**人口千人当たり職員数の分析欄**  
 市町村合併直後から退職者不補充等の新規採用抑制策により、類似団体平均を下回っている。今後も住民サービスの低下を招かないよう、能力・職責に応じた適切な人員配置に努め、定員管理の適正化に努めていく。

#### 給与水準 (国との比較) ラスパイレス指数 [106.1]

類似団体内順位 64/75 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3



**ラスパイレス指数の分析欄**  
 平成23年度の数値は106.1と国が給与削減した影響により国基準(100.0)を上回っており、類似団体平均と比較しても高い状態にあり、給与の適正化を検討する。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

三重県紀宝町

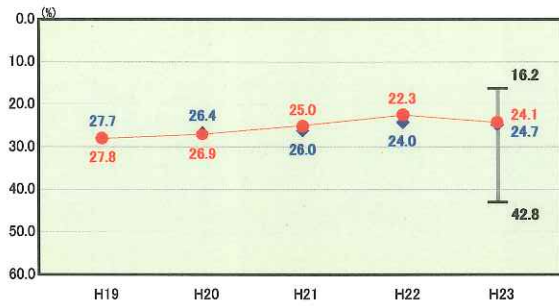
## 経常収支比率の分析

人口	12,001人 (H24.3.31現在)	実買赤字比率	- %
面積	79.66 km <sup>2</sup>	通結実買赤字比率	- %
入総額	8,080,626千円	実買公債費比率	10.2 %
出総額	7,383,323千円	将来負担比率	70.9 %
実収支	566,637千円		
標準財政規模	4,003,845千円	市町村類型	H19 III-2 H20 III-2 H21 III-2
地方債現在高	7,770,225千円	(年度毎)	H22 III-2 H23 III-2



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

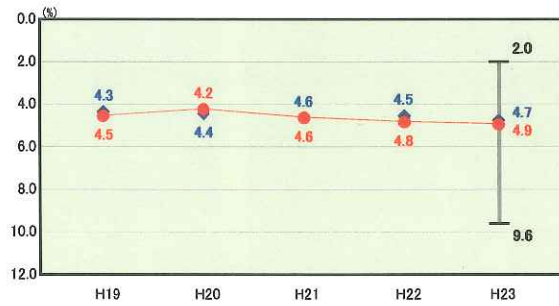
### 人件費



類似団体内順位 36/75 全国平均 25.4 三重県平均 25.0

**人件費の分析欄**  
市町村合併直後からの退職者不補充等の新規採用抑制、早期退職者募集により、職員数の削減に取り組んだ結果、平成21年度から類似団体平均を下回っている。今後も時間外手当の抑制を図るなど、引き続き人件費の削減に努める。

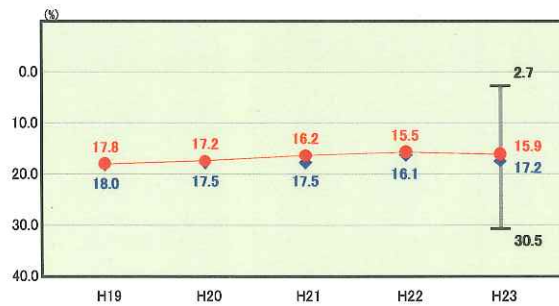
### 扶助費



類似団体内順位 41/75 全国平均 10.5 三重県平均 7.7

**扶助費の分析欄**  
ここ5年間における扶助費は、類似団体平均と同程度の水準となっている。内容としては、児童福祉関係の扶助費に比べ、老人福祉関係の扶助費が高くなっている。将来的には町単独で実施している制度の見直しなどを検討し、扶助費の増加を抑制するための取り組みを進めていく。

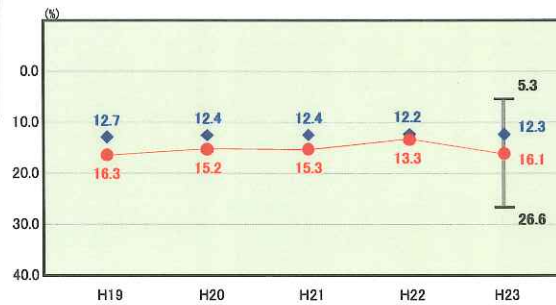
### 公債費



類似団体内順位 38/75 全国平均 19.0 三重県平均 16.9

**公債費の分析欄**  
ここ5年間における公債費は、類似団体と同程度の水準となっている。今後、老朽化した小学校の建て替えや、平成23年に発生した台風12号大被害による災害復旧債の借入額によっては上昇していく懸念がある。そのため、その他の起債の新規発行を抑制し、交付税措置の厚い起債を利用することにより、実質的な負担を示す指標である実質公債費比率、将来負担比率を減らすよう努めていく。

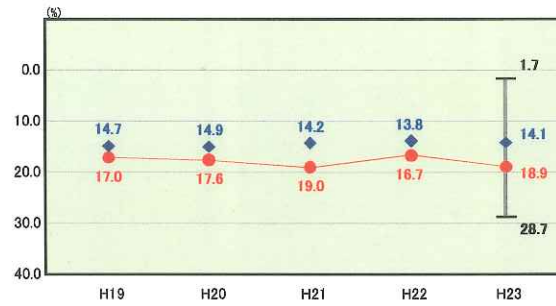
### 物件費



類似団体内順位 63/75 全国平均 13.1 三重県平均 15.1

**物件費の分析欄**  
不要な消耗品費や郵送料、委託料などの削減で年々改善していたが、平成23年度は類似団体平均を上回っている。原因として、施設管理や文書配布をはじめとした臨時職員等への賃金や電算関係、町営バスの運行等の委託料などがあり、23年に発生した台風12号大被害の影響も少なからずあると思われる。町財政の運営を見通す中で、指定管理者制度の一層の導入や行財政改革において、行政としての適正なサービスの在り方について検討するなどコスト削減にむけた取り組みを進めながら、数値を注視していく必要がある。

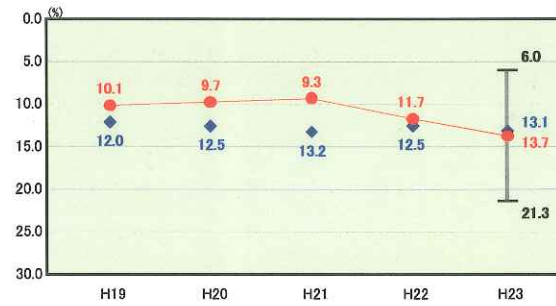
### 補助費等



類似団体内順位 68/75 全国平均 10.1 三重県平均 10.4

**補助費等の分析欄**  
補助費等における数値が類似団体と比較し高くなっている原因として、広域で行っている消防、ごみ処理などに対する負担金が挙げられる。今後は経費削減に向けて広域への働きかけを進めるとともに、その他の補助についても補助要件の見直し等を検討し、補助費等の削減に向けた取り組みを進めていく。

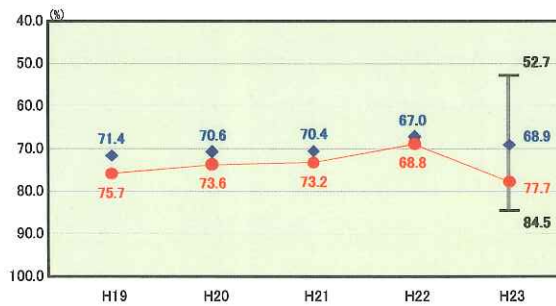
### その他



類似団体内順位 45/75 全国平均 12.2 三重県平均 12.8

**その他の分析欄**  
平成22年度までは類似団体平均を下回っていたが、平成23年度には類似団体平均を上回っている。主に国民健康保険特別会計や後期高齢者医療特別会計などへの繰出金の増加が原因であり、今後の高齢化が進むことにより医療費が増加し、それにより負担金の増加するため、そのための取り組みを検討していく必要がある。

### 公債費以外



類似団体内順位 64/75 全国平均 71.3 三重県平均 71.0

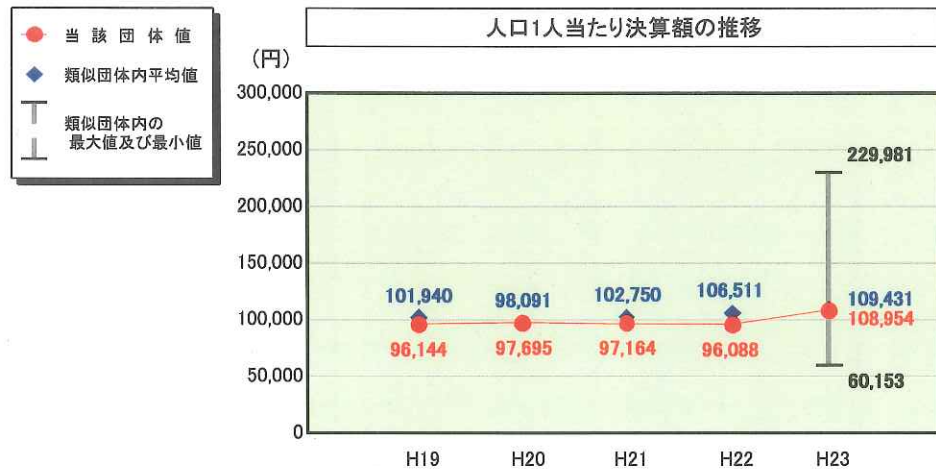
**公債費以外の分析欄**  
ここ5年間の数値はいずれも類似団体平均値を上回っており、主な原因である物件費や補助費などを抑制していくよう努めていく。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

三重県紀宝町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



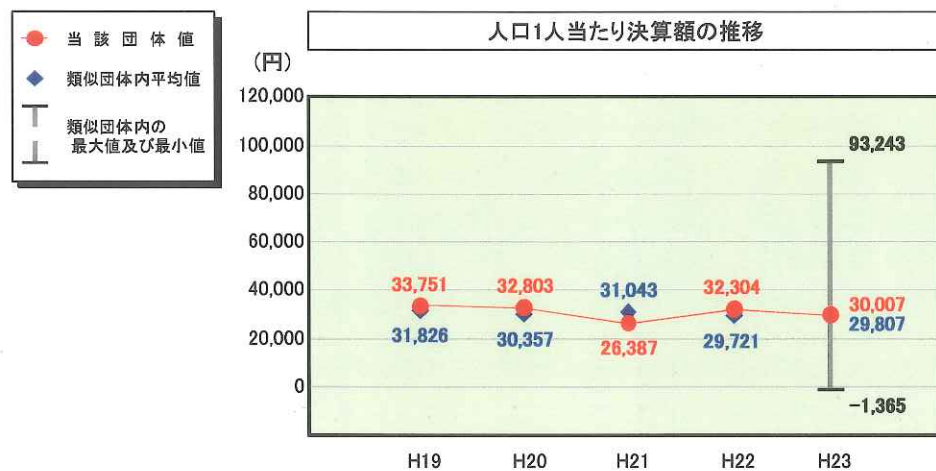
## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,151,532	95,953	90,097	6.5
賃金(物件費)	177,843	14,819	8,832	67.8
一部事務組合負担金(補助費等)	55,724	4,643	13,533	▲65.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	900	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	15	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	4,360	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	23,587	1,965	1,937	1.4
▲退職金	▲101,127	▲8,427	▲10,243	▲17.7
合計	1,307,559	108,954	109,431	▲0.4

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.33	10.35	▲1.02
ラスパイレス指数	106.1	102.6	3.5

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

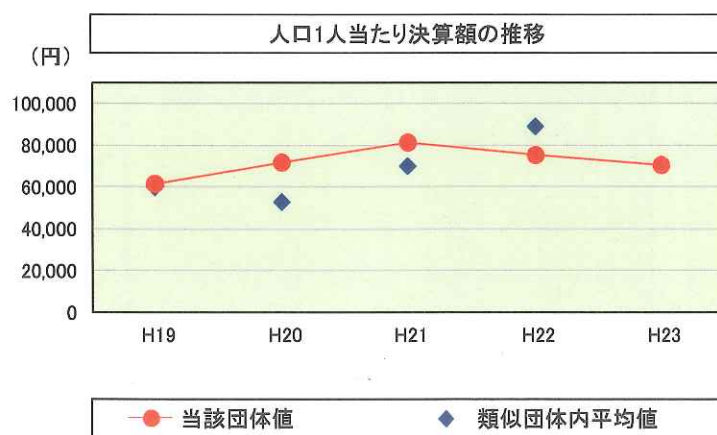


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	651,973	54,327	59,821	▲9.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	3	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	44,344	3,695	16,323	▲77.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	134,620	11,217	5,865	91.3
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,195	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	7	-
▲特定財源の額	-	-	▲2,897	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲470,826	▲39,232	▲50,510	▲22.3
合計	360,111	30,007	29,807	0.7

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

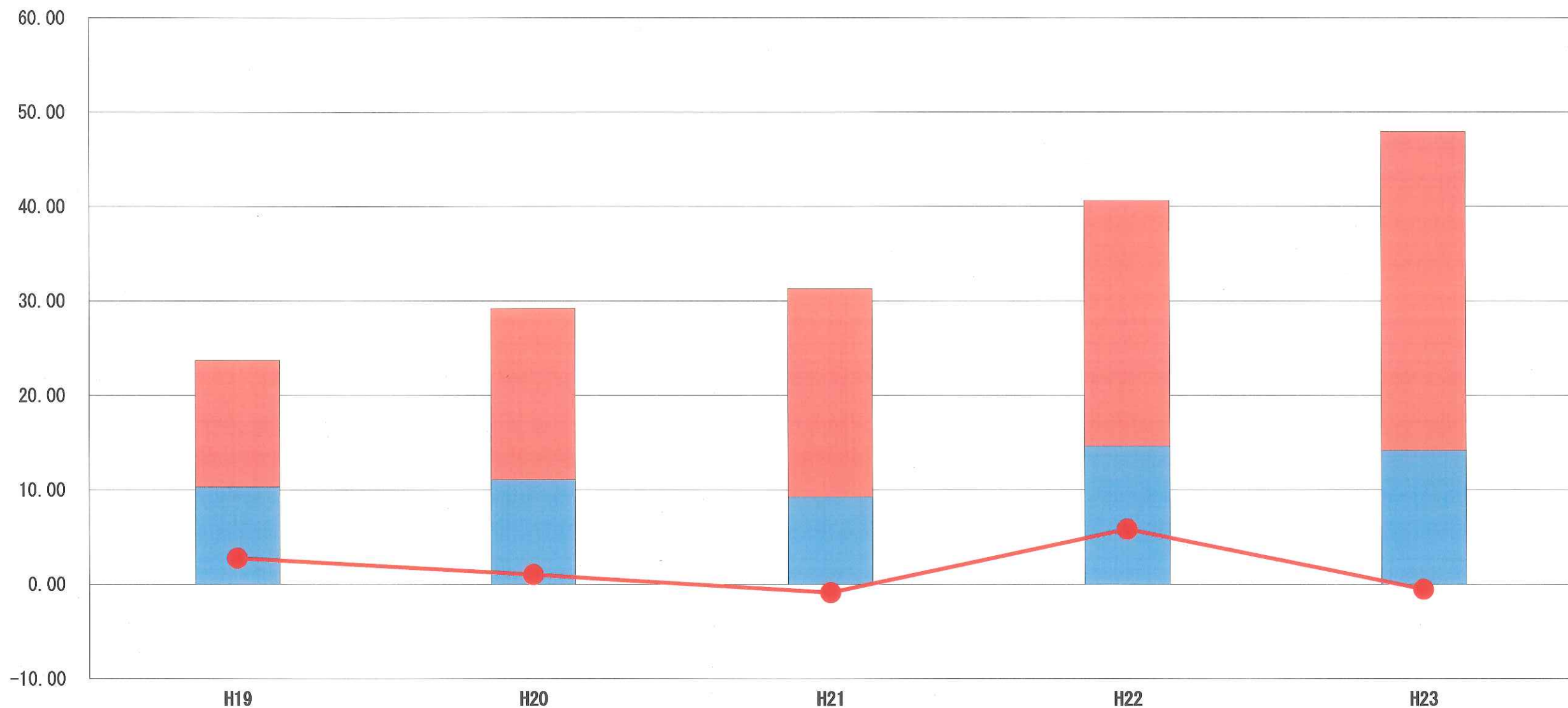
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	775,162	61,633	5.3	60,088	▲9.4	14.7
うち単独分	93,332	7,421	▲63.7	30,773	▲15.9	▲47.8
H20	890,099	71,846	16.6	52,940	▲11.9	28.5
うち単独分	382,310	30,859	315.8	28,496	▲7.4	323.2
H21	1,005,475	81,488	13.4	70,254	32.7	▲19.3
うち単独分	494,671	40,090	29.9	41,764	46.6	▲16.7
H22	918,775	75,557	▲7.3	89,245	27.0	▲34.3
うち単独分	588,369	48,386	20.7	42,966	2.9	17.8
H23	848,441	70,897	▲6.4	70,897	▲20.6	14.2
うち単独分	338,010	28,165	▲41.8	39,878	▲7.2	▲34.6
過去5年間平均	887,590	72,244	4.3	68,685	3.6	0.7
うち単独分	379,338	30,984	52.2	36,775	3.8	48.4

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

平成23年度

三重県紀宝町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		13.41	18.16	22.03	26.03	33.78
 実質収支額		10.31	11.05	9.25	14.60	14.15
 実質単年度収支		2.77	1.03	▲ 0.88	5.83	▲ 0.53

## 分析欄

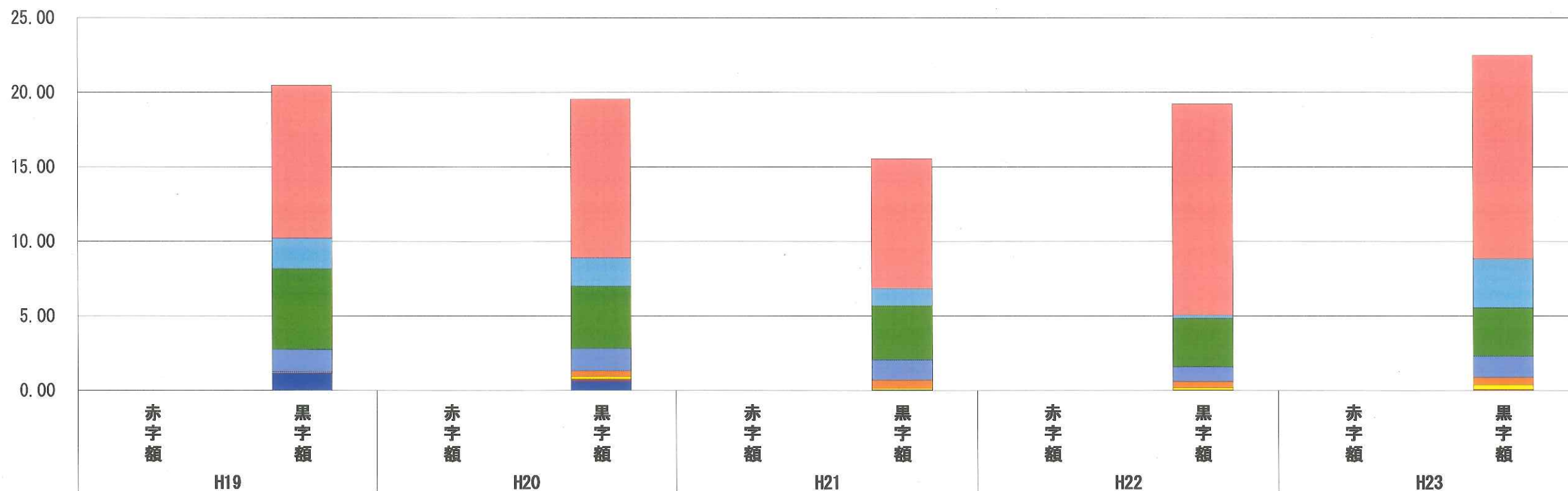
財政調整基金に関してはここ5年間で順調に積立してきており、これからも実質収支額と実質単年度収支を黒字化しつつ基金の積立もできるよう歳出抑制に努めていく。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成23年度

三重県紀宝町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
一般会計		10.25	10.66	8.69	14.17	13.65
国民健康保険特別会計		2.05	1.90	1.16	0.23	3.31
水道事業特別会計		5.41	4.18	3.62	3.24	3.21
井内地域開発事業特別会計		1.52	1.48	1.37	0.97	1.44
診療所事業特別会計		0.06	0.39	0.56	0.43	0.50
町営浄化槽整備推進事業特別会計		-	0.18	0.09	0.15	0.31
後期高齢者医療特別会計		-	0.16	0.04	0.03	0.07
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		1.18	0.60	0.01	0.00	-

## 分析欄

ここ4年間でどの会計も赤字額は出ていない。これからも全会計が黒字で継続していくよう引き続き歳出抑制に努めていく。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

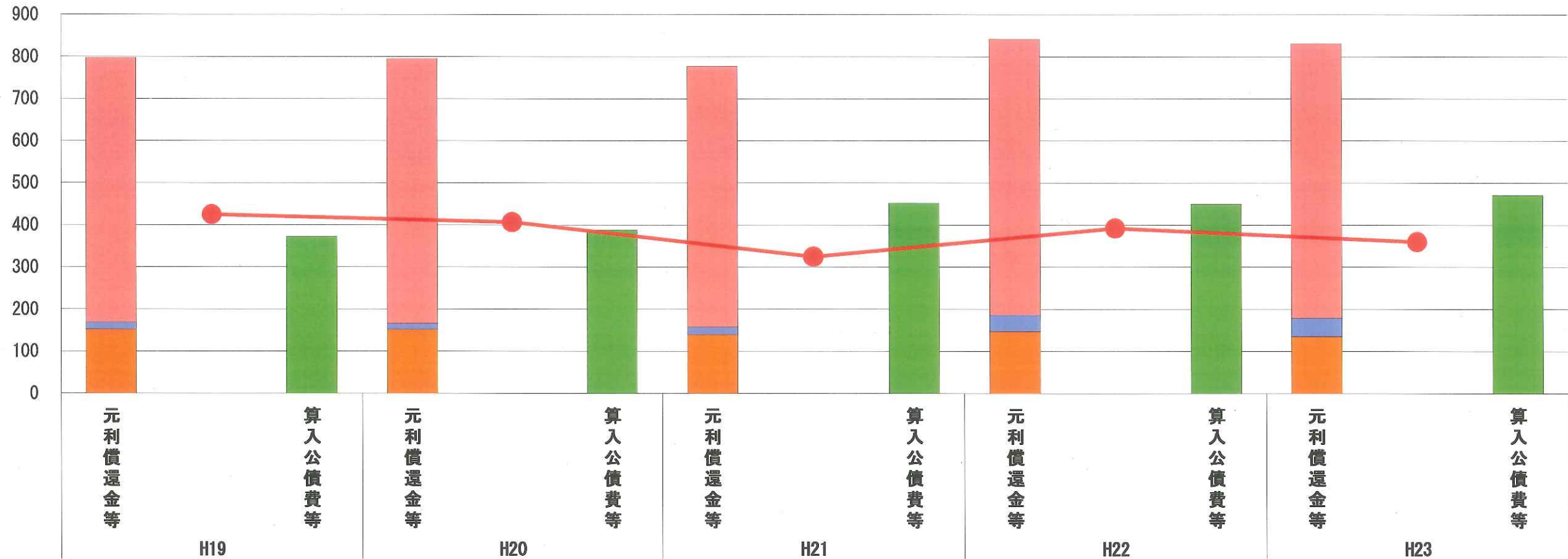


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

三重県紀宝町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		628	629	619	656	652
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		17	14	18	39	44
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		152	152	140	147	135
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		372	388	452	450	471
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		425	407	325	392	360

## 分析欄

元利償還金が平成19年度から21年度は横ばいだったが、22年度から増加している。算入公債費等も増加しているため、実質公債費比率は横ばいになっているが、今後も実質公債費比率を増加させないよう、交付税措置の厚い地方債を有効的に活用していく。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

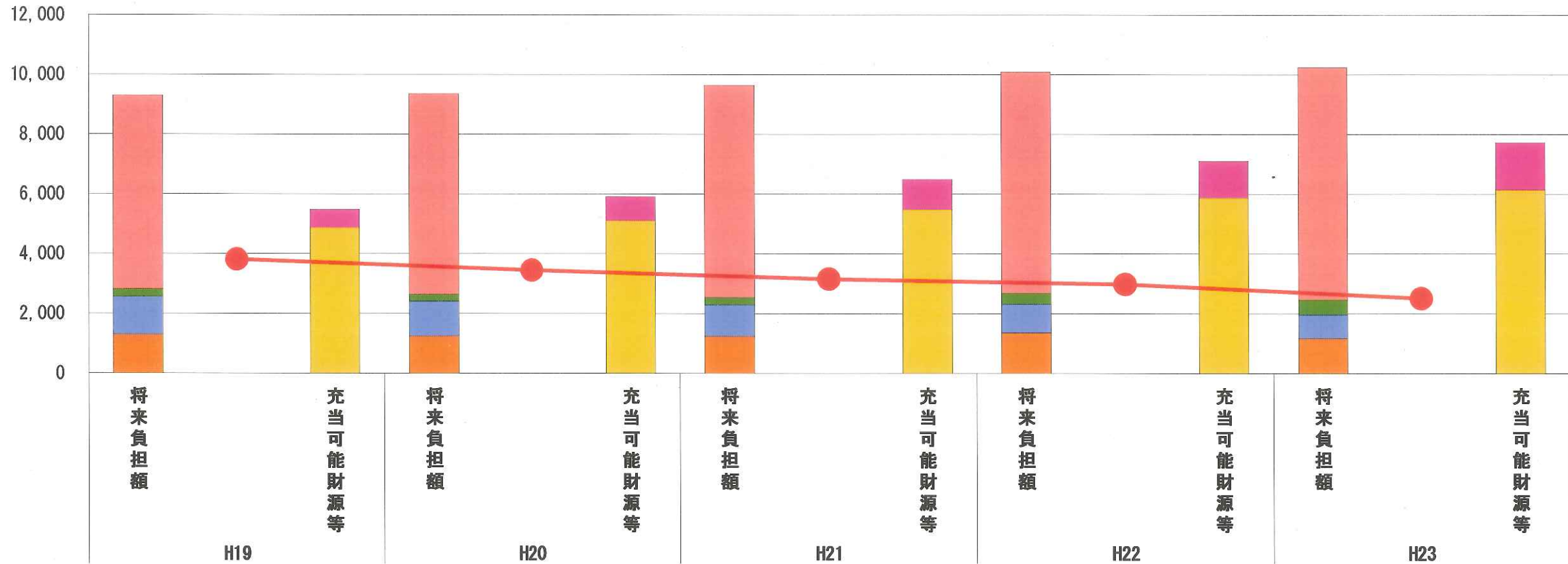
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

三重県紀宝町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		6,485	6,721	7,103	7,398	7,779
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		257	234	250	372	503
	組合等負担等見込額		1,267	1,162	1,049	963	789
	退職手当負担見込額		1,292	1,243	1,240	1,352	1,169
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		612	801	1,004	1,228	1,592
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		4,872	5,106	5,486	5,877	6,140
(A) - (B)	将来負担比率の分子		3,817	3,453	3,151	2,981	2,508

### 分析欄

一般会計に係る地方債の現在高はこの5年間増加しつづけている。将来負担比率の分子は少しずつ減少しているが、これは充当可能財源も増加しているためである。今後も将来負担比率を増加させないよう交付税措置の厚い地方債を有効的に活用していく。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。